

保存修復学

講 師	宮 田 浩 光	実施時期 単 位 数	第 2 学年前期 1 単位 （20 時間）	実務経験	○
一般目標（GIO）	歯科衛生業務を行うために必要な歯に生じる疾患の種類、症状、診断法および治療法を理解する。				
授 業 概 要	歯の硬組織欠損の抑制、修復について科学知識および技術体系を学び、特に修復材料の特性・用途・取り扱いにおける歯科衛生士の担う役割を理解する。				
学 習 方 法	講義				
成績評価の方法	定期試験100%				
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会（監） 歯科衛生学シリーズ「保存修復学・歯内療法学」 医歯薬出版				
履修上の注意					
参 考 書	「わかる! できる! 実践カリオロジー」 医歯薬出版 「ミニマルインターベンションによるカリエスコントロール」 医歯薬出版 「健康で美しい口腔をつくる歯科衛生士のための審美歯科入門」 医歯薬出版 「コンポジットレジン修復のサイエンス&テクニック」 クインテッセンス出版				
教員の職務経験 (科目との関連性)	毎日実践している歯冠修復を通して、歯質、コンポジットレジン、メタル、それぞれの接着システムの理解を深める。				

授業計画

No.	授業項目	到達目標（SB0s）
1	保存修復学の概要、う蝕についての考え方	保存修復のコンセプトと修復方法の種類を把握する。
2	保存修復の対象となる疾患	歯の硬組織疾患の種類、病態とその診断についての知識を得る。
3	診査方法	口腔検査法の種類とその目的を習得する。
4	歯の硬組織疾患の種類と病態	歯の硬組織疾患の種類、病態の知識を得る。う蝕症の分類、検査法、処置法について習得する。
5	窩洞と保存修復	窩洞の構成と分類を理解する。 診療のステップを理解し前準備ができるようになる。 切削器具の種類を理解する。
6	コンポジットレジン修復	コンポジットレジンの組成とその役割を理解する。接着の概念を理解する。
7	コンポジットレジン修復の手順	コンポジットレジン修復の適応症、臨床における修復手順、応用例について習得する。
8	セメント修復	各種セメントの特性とその用法について習得する。
9	鋳造修復	鋳造修復の手順、特徴と適応症について習得する。合着・接着用セメントの成分と合着・接着の手順を習得する。
10	ラミネートベニア修復、その他の修復法	ラミネートベニア修復に用いられる材料、特徴、適応症と修復の手順を習得する。